

第66期事業報告書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで



ムンバット株式会社

証券コード：8115

株主の皆様へ



代表取締役
社長執行役員

中野 誠 一

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別なるご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第66期事業報告書（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における日本経済は、企業収益の改善を背景に設備投資が増加し、個人消費も底堅い動きが見られるなど回復基調で推移いたしました。

当社グループの主要販売先である百貨店の売上高は、前年度は9年ぶりに前年比増加となりましたが、当連結会計年度には再び前年比減少に転じております。チェーンストアにおきましては、依然として売上高の減少傾向が止まるに至っておりません。

このような環境下、当社グループでは引き続きお客様のニーズに合った商品を迅速かつ機動的に提供できるものづくりと、「質」「効率」重視による収益体質の構築、さらには資産効率の改善に邁進いたしました。

売上高につきましては、降雨に恵まれたことから洋傘の販売が好調に推移する一方で、日照時間の少なさや気温の低さにより、パラソルや帽子といった春夏物の商材の販売が伸び悩んだこと、暖冬の影響により洋品や毛皮といった秋冬物、防寒対応商品の販売が不振であったこと、及び宝飾部門のアクセサリ事業からの撤退に伴う減少要因などもあり、当連結会計年度売上高は140億41百万円と前年比8.3%の減収となりました。収益面では、事業の一層の効率化を進めた結果として、粗利率率は前年比2.4%改善され、販管費も1億96百万円圧縮できましたことから、経常利益は5億85百万円と前年比13.2%の増益となりました。当期純利益は、撤退いたしましたアクセサリ事業や提携ブランドの廃止に伴う処分損等により、2億63百万円の特別損失を計上し、3億8百万円となりました。

本年度につきましては、景気回復基調が続き、個人消費も堅調に推移するものと予想される一方で、天候要因による季節商材の販売には不透明感があること、また、原材料の高騰、海外生産にかかる工賃の上昇傾向が続くことなど、コストを押し上げる要因も懸念されます。さらに、価格の二極化の拡大に伴い、高額品から低価格帯に至るまで、お客様のニーズに対応した商品の提供が求められています。

かかる環境下、当社グループは、お客様のニーズに即応した質の高いものづくりを一段と推進し、販売シェアの拡大に努めるとともに、さらに徹底した経営の効率化により、安定的な収益を維持できる企業基盤の構築に取り組む所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

営業の概況

<部門別業績>

(洋傘部門)

当連結会計年度の売上高は、59億69百万円、前年比0.8%の減収となりました。

洋傘・レイングッズ市場は、降雨に恵まれて好調に推移いたしました。逆にパラソル市場では、商品の立ち上がり時期である4～6月にかけて日照時間が少なく、気温の低い日が多かったこともあり、伸び悩みました。

その中で、当社グループは業界のトップ企業として、市場への新鮮な商品企画の提案を行うなど販売力強化に努め、特に2005年秋冬物から導入いたしました「キャシャレル」ブランドも好調でした。その結果、主要販売先である百貨店における当社販売シェアは若干拡大したものの、パラソルの販売不振を洋傘・レイングッズにて補いきれず、全体としては減収となりました。

(洋服部門)

当連結会計年度の売上高は、43億82百万円、前年比8.5%の減収となりました。

洋品市場では、春物商戦が早期に立ち上がったこと、及び春先の低温の影響もあり羽織物の需要が比較的堅調であったこともあり、上半期は期初から堅調に推移いたしました。秋冬物は暖冬の影響により、厳しいマーケットとなりました。また、大きなヒット商品もありませんでした。

その中で、当社グループの売上高も、比重の大きい秋冬物の販売不振要因が大きく影響し、主要販売先である百貨店における当社販売シェアは若干拡大したものの、前年の売上高を下回る結果となりました。

洋品毛皮も暖冬の影響を大きく受け、当社販売シェアは若干拡大したものの、前年比14.5%減収とマーケットと同様、前年の売上高を大きく下回る結果となりました。

(毛皮部門)

当連結会計年度の売上高は、15億70百万円、前年比14.5%の減収となりました。

毛皮市場は、毛皮アイテムがトレンドとして引続き注目されて

いるものの、暖冬により、防寒対応商品としてのマーケットは厳しい状況となりました。

その中で、当社グループは、恒例であります6月の大型新作発表会にて「ミラ・ショーン」ブランドの積極展開を行うなど、他社との差別化を進めてまいりましたが、暖冬影響によるマーケットの縮小に逆らえず、前年の売上高を大きく下回る結果となりました。

(帽子部門)

当連結会計年度の売上高は、13億62百万円、前年比3.0%の減収となりました。

帽子市場では、春夏物は立ち上がり時期である4～6月にかけて降雨の日が多かったこともあり、伸び悩みました。秋冬物はニット商品が好調でしたが、暖冬影響により全体としては苦戦いたしました。また、大きなヒット商品もありませんでした。

その中で、当社グループは、引続き好調な「ヴィヴィアン・ウエストウッド」ブランドのニット商品などが牽引となり、主要販売先である百貨店における当社販売シェアは拡大したものの、天候要因による減少分を補いきれず、全体としては前年の売上高を若干ながら下回る結果となりました。

(宝飾品部門)

当連結会計年度の売上高は、7億56百万円、前年比38.8%の減収となりました。

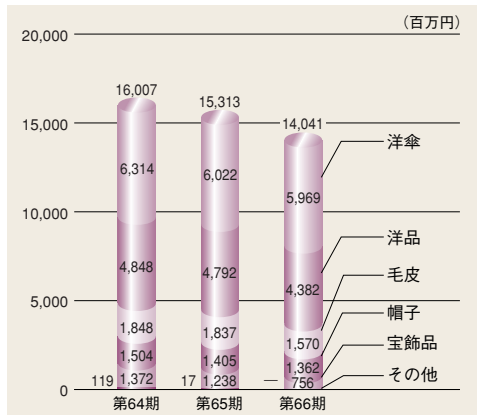
その内、撤退いたしましたアクセサリー事業を除く売上高は、6億40百万円、前年比4.9%の減収となりました。

宝飾品市場は、特にハイジュエリーなど高額品が活性化し、価格の二極化も拡大してまいりました。

その中で、当社グループは、「ミラ・ショーン」ブランドのジュエリーを中心に、企画商品の投入や新規専門店との取引開拓などを進めてまいりましたが、前年の売上高を確保することができませんでした。

アクセサリー事業の売上高は、1億15百万円、前年比79.4%の減収となりました。この減収は、上半期に同事業から撤退いたしましたことによるものです。

事業区分別売上高の推移



当社グループの財産及び損益の状況の推移

区 分	第63期 (平成16年3月期)	第64期 (平成17年3月期)	第65期 (平成18年3月期)	第66期 (当連結会計年度) (平成19年3月期)
売上高(百万円)	16,440	16,007	15,313	14,041
経常利益(百万円)	364	474	516	585
当期純利益(百万円)	215	234	△ 495	308
1株当たり当期純利益(円)	8.08	8.79	△ 18.60	11.57
1株当たり純資産(円)	197.36	204.48	184.39	194.50
純資産(百万円)	5,265	5,451	4,913	5,181
総資産(百万円)	21,482	20,060	17,629	16,619

財務諸表の概要 (連結)

●連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期 (平成19年3月31日現在)	前期 (平成18年3月31日現在)	科目	当期 (平成19年3月31日現在)	前期 (平成18年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	8,987,876	9,923,071	流動負債	7,772,391	6,325,013
現金及び預金	1,759,659	1,850,107	支払手形及び買掛金	1,974,126	1,967,203
受取手形及び売掛金	3,521,393	4,156,334	短期借入金	3,765,804	2,402,993
たな卸資産	3,207,027	3,169,686	社債(1年以内償還予定)	1,530,000	1,460,000
前渡金	19,662	175,796	未払金	236,713	226,541
短期貸付金	104,926	149,132	未払費用	41,869	43,293
その他	441,328	478,811	未払法人税等	28,583	20,874
貸倒引当金	△ 66,121	△ 56,795	未払消費税等	2,445	11,704
固定資産	7,617,749	7,682,839	賞与引当金	142,430	135,264
有形固定資産	4,500,182	4,556,063	返品調整引当金	19,917	20,024
建物及び構築物	587,415	631,541	繰延税金負債	815	—
機械装置及び運搬具	7,881	11,340	その他	29,685	37,115
工具器具備品	78,559	86,856	固定負債	3,665,774	6,391,160
土地	3,826,325	3,826,325	社債	2,050,000	3,280,000
無形固定資産	26,083	22,338	長期借入金	1,316,103	2,835,324
ソフトウェア	15,106	11,280	退職給付引当金	282,045	252,165
電話加入権等	10,976	11,058	繰延税金負債	233	617
投資その他の資産	3,091,484	3,104,437	その他	17,392	23,053
投資有価証券	89,718	93,372	負債合計	11,438,165	12,716,173
長期貸付金	333,637	330,022	資本の部		
敷金	432,864	434,410	資本金	—	3,339,794
保証金	2,167,114	2,167,195	資本剰余金	—	1,039,578
その他	171,957	181,804	利益剰余金	—	541,609
貸倒引当金	△103,807	△102,368	その他有価証券評価差額金	—	904
繰延資産	13,994	24,066	自己株式	—	△ 8,081
社債発行費	13,994	24,066	資本合計	—	4,913,804
資産合計	16,619,621	17,629,978	負債及び資本合計	—	17,629,978
			純資産の部		
			株主資本	5,179,919	—
			資本金	3,339,794	—
			資本剰余金	1,039,578	—
			利益剰余金	809,922	—
			自己株式	△ 9,375	—
			評価・換算差額等	1,536	—
			その他有価証券評価差額金	341	—
			繰延ヘッジ損益	1,194	—
			純資産合計	5,181,455	—
			負債及び純資産合計	16,619,621	—

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

●連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科目	当期	前期
	（平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで）	（平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで）
売上高	14,041,628	15,313,230
売上原価	8,188,440	9,311,406
売上総利益	5,853,187	6,001,824
販売費及び一般管理費	5,029,205	5,225,744
営業利益	823,982	776,080
営業外収益	129,766	125,348
営業外費用	368,738	384,733
経常利益	585,010	516,695
特別利益	21	88,356
特別損失	263,063	1,074,061
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失（△）	321,967	△ 469,009
法人税、住民税及び事業税	13,683	26,956
当期純利益又は当期純損失（△）	308,284	△ 495,965

（注）記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

●連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科目	当期	前期
	（平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで）	（平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,259,068	1,045,575
投資活動によるキャッシュ・フロー	18,454	915,473
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,367,971	△ 1,916,106
現金及び現金同等物の増加額（△は減少額）	△ 90,447	44,942
現金及び現金同等物の期首残高	1,850,107	1,805,165
現金及び現金同等物の期末残高	1,759,659	1,850,107

（注）記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

●連結株主資本等変動計算書（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）

（単位：千円）

	株主資本				株主 資本 合計	評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式		その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
平成18年3月31日 残高	3,339,794	1,039,578	541,609	△ 8,081	4,912,900	904	—	904	4,913,804
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当※			△ 39,971		△ 39,971				△ 39,971
当期純利益			308,284		308,284				308,284
自己株式の取得				△ 1,294	△ 1,294				△ 1,294
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						△ 562	1,194	631	631
連結会計年度中の変動額合計	—	—	268,313	△ 1,294	267,019	△ 562	1,194	631	267,650
平成19年3月31日 残高	3,339,794	1,039,578	809,922	△ 9,375	5,179,919	341	1,194	1,536	5,181,455

（注）1. 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

2. ※は、平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

財務諸表の概要（単体）

● 貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科目	当期 (平成19年3月31日現在)	前期 (平成18年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	8,949,220	9,883,156
固定資産	7,694,939	7,758,936
繰延資産	13,994	24,066
資産合計	16,658,154	17,666,160
負債の部		
流動負債	7,798,708	6,341,954
固定負債	3,663,676	6,389,644
負債合計	11,462,384	12,731,598
資本の部		
資本金	—	3,339,794
資本剰余金	—	1,039,578
利益剰余金	—	562,366
その他有価証券評価差額金	—	904
自己株式	—	△ 8,081
資本合計	—	4,934,561
負債及び資本合計	—	17,666,160
純資産の部		
株主資本	5,194,233	—
資本金	3,339,794	—
資本剰余金	1,039,578	—
利益剰余金	824,236	—
自己株式	△ 9,375	—
評価・換算差額等	1,536	—
その他有価証券評価差額金	341	—
繰延ヘッジ損益	1,194	—
純資産合計	5,195,769	—
負債及び純資産合計	16,658,154	—

（注）記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

● 損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科目	当期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	前期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
売上高	14,031,682	15,284,599
売上原価	8,228,607	9,352,635
売上総利益	5,803,075	5,931,963
販売費及び一般管理費	5,000,045	5,154,304
営業利益	803,030	777,659
営業外収益	140,497	137,091
営業外費用	368,643	382,093
経常利益	574,884	532,658
特別利益	21	1,743
特別損失	263,063	993,224
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失（△）	311,842	△ 458,822
法人税、住民税及び事業税	10,000	10,000
当期純利益又は当期純損失（△）	301,842	△ 468,822
前期繰越利益	—	1,031,188
当期末処分利益	—	562,366

（注）記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

● 株主資本等変動計算書（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）

（単位：千円）

	株主資本						評価・換算差額等			純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己 株式	株主 資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金	繰延 ヘッジ 損益		評価・換算 差額等 合計
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計						
平成18年3月31日 残高	3,339,794	1,039,578	1,039,578	562,366	562,366	△ 8,081	4,933,657	904	—	904	4,934,561
事業年度中の変動額											
剰余金の配当 ※				△ 39,971	△ 39,971		△ 39,971				△ 39,971
当期純利益				301,842	301,842		301,842				301,842
自己株式の取得						△ 1,294	△ 1,294				△ 1,294
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）								△ 562	1,194	631	631
事業年度中の変動額合計	—	—	—	261,870	261,870	△ 1,294	260,576	△ 562	1,194	631	261,208
平成19年3月31日 残高	3,339,794	1,039,578	1,039,578	824,236	824,236	△ 9,375	5,194,233	341	1,194	1,536	5,195,769

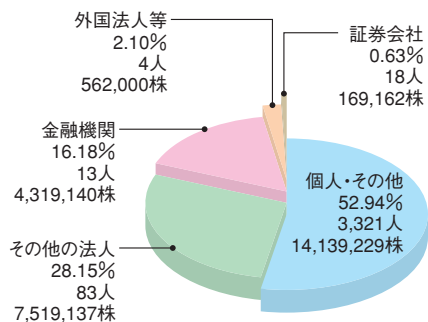
（注）1. 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。
2. ※は、平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

株式の状況 (平成19年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 60,000,000株
- 発行済株式の総数 26,639,335株
(自己株式69,333株を除く)
- 株主数 3,439名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数
株式会社ニード	4,390
株式会社三井住友銀行	1,210
ムーンバット持株共栄会	1,170
河野正行	1,050
日本生命保険相互会社	1,000
大阪証券金融株式会社	996
岡本緑	729
株式会社京都銀行	522
フシアインベストメントリミテッド	520
京セラ株式会社	399

所有者別株式分布状況



会社の概要 (平成19年3月31日現在)

社名 ムーンバット株式会社
 英文社名 MOONBAT CO.,LTD.
 本社 京都市下京区室町通四条南入鶏鈴町493番地
 東京本部 東京都千代田区九段北4-1-3
 飛栄九段北ビル4階
 支店 東京・名古屋・大阪・福岡・札幌(営業所)
 創業 明治18年3月(西暦1885年)
 設立 昭和16年9月(西暦1941年)
 資本金 33億39百万円
 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 従業員数 232名(連結)・225名(単体)
 事業内容 洋傘・洋品・毛皮・レザー・宝飾品・帽子など
 アクセントファッション商品類の企画開発並び
 に販売に関する事業その他事業

ホームページアドレス <http://www.moonbat.co.jp>

重要な子会社の状況

会社名	資本金(千円)	主要な事業内容
日本洋傘センター株式会社	60,000	洋傘の製造、加工、販売
エムビー情報サービス株式会社	20,000	通信情報処理システムの開発・販売

取締役、監査役及び執行役員 (平成19年6月28日現在)

代表取締役・会長執行役員	大島 幸雄	
代表取締役・社長執行役員	中野 誠一	
取締役・常務執行役員	田中 治	事業本部統括担当(兼)第一事業本部長
取締役・常務執行役員	有吉 計則	東京支店長(兼)チェーンストア本部長
取締役・常務執行役員	今村 京一	管理本部長(兼)リスク管理・コンプライアンス担当
取締役・常務執行役員	川向 雅裕	営業統括担当
常勤監査役	犬島 章	
常勤監査役(社外)	隈本 友三	
監査役(社外)	南部 孝男	弁護士
執行役員	山西 英治	福岡支店長
執行役員	大道 晃	第一事業本部副本部長
執行役員	杉岡 善秀	第二事業本部長
執行役員	武内 敏和	大阪支店長

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日（中間配当をする場合） その他必要な場合はあらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物送付先）	東京都府中市日鋼町1番10（〒183-8701） 住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）	〈住所変更等用紙のご請求〉 ☎0120-175-417 〈その他のご照会〉 ☎0120-176-417
（インターネットホームページURL）	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同 取 次 所	住友信託銀行株式会社 全国各支店
公 告 方 法	日本経済新聞に掲載いたします。
上 場 証 券 取 引 所	大阪証券取引所市場第二部



本社 〒600-8491 京都市下京区室町通四条南入鶏鉾町493番地
TEL (075) 361-0381（代表） FAX (075) 371-0171
<http://www.moonbat.co.jp>